

議会広報

vol.6

かみいち



冬場の農業ハウス（バラ栽培）

目次

12月定例会の要点	……P2
常任委員会報告	……P3
一般質問（8名）	……P4
視察報告	……P12

追跡レポート	……P14
視点	……P15
町民の声紹介	……P16
お知らせ	……P16



発行
上市町議会 2016年2月

編集
議会広報特別委員会

KAMIICHI

平成27年度12月上市町議会定例会

町観光協会リニューアル サービス拡充
 学校給食民営化 南加積小学校
 田園サイクリングコース 大岩日石寺～高岡瑞龍寺

平成27年度一般会計補正予算
 8171万円を追加

総額**98億2439万円**に

平成27年12月定例会は、12月9日から17日までの9日間にわたり開かれ、補正予算、条例制定など12件の議案について審議を行い、議案第71号に対し反対討論・賛成討論を経て、すべて原案のとおり可決しました。

最終日に、12月22日任期満了となる固定資産評価審査委員の選任案件が追加提案され、佐伯宗茂委員の新任に同意しました。

一般質問は、8名の議員が町政全般にわたり活発な議論を展開しました。（質問と答弁の要約は4ページから11ページです）

議事録は、2月中に町ホームページで検索・閲覧可能となります。

平成27年度補正予算第4号の規模および特徴的事業

一般会計 8171万円
 特別会計 5412万円
 企業会計 3966万円

◆障害者自立支援給付事業費 2393万円
 障害者自立支援の介護・訓練等の扶助費です。

◆認定こども園運営費 2350万円
 認定こども園相ノ木保育所園児増による委託料です。

◆寄附金 172万円
 ふるさと納税6名の寄附金です。

◆債務負担行為
 南加積小学校給食委託事業

平成28年度 994万円

条例制定

番号法に定めのない事務について、当該情報シ

ステムを利用できるように定める条例制定（議案第77号）

地域再生法により、固定資産税の不均一課税の実施に係る所要の整備を行う条例制定（議案第78号）

条例改正

地方税における徴収猶予について申請手続等を条例で定める規定の整備（議案第79号）

指定管理者の指定

該当施設につき平成28年4月1日から5年間の指定管理者を上市町保健福祉総合センター、北アルプス文化センター、上市町文化研修センター、弓の里歴史文化館、丸山総合公園を一般財団法人上市町健康文化振興財団に指定。
 上市町商業・サービス業集積関連施設、上市町西中町駐車場、上市町まちなか交流プラザを株式会社上市まちづくり公社に指定しました。

平成27年12月定例会 議案審議結果

平成27年度補正予算	議案第71号	一般会計補正予算(第4号)	可決
	議案第72号～74号	農業集落排水、下水道、国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	
	議案第75号	水道事業会計補正予算(第1号)	
	議案第76号	病院事業会計補正予算(第3号)	
条例制定・一部改正	議案第77号	上市町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例	可決
	議案第78号	地域再生法で定める地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例	
	議案第79号	上市町税条例等の一部を改正する条例	
	議案第80号	上市町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例一部改正	
その他	議案第81号	指定管理者の指定に関する件	可決
	議案第82号	上市町固定資産評価審査委員会委員選任に関し同意を得るの件	同意

委員会の審議

総務教育常任委員会

総務課

Q 議案第81号の詳しい説明資料は無いのか。

A 応募は1団体。各課で書類審査、指定管理選定委員会で審査の結果、妥当と認め決定。

Q 戸別受信機を町内企業に貸し出せないか。

A エリア設定、アンテナ等の費用20万円を負担して頂ければ貸し出し可能。

Q サイレンの識別の方法はないのか。

A 消防や警察は法律で決まっており、市町村では変更できない。

報告事項…上市保育園の投票区変更。東町は上市中央(カミール)へ、北島は北島公民館へ。

財務課

Q 県の新アンテナシヨップで、ふるさと納税振込対応するのか。

A 現時点で情報なし。県に問い合わせる。

Q ふるさと納税返礼品に馬場島荘の宿泊券を入

A 来てはどうか。検討してみる。

南加積小の給食調理民間委託に反対する

教育委員会事務局

Q カヌーは何艇購入。

A 1艇購入、累計で4艇。

Q 分館補助金は何m以上対象か。

A 要綱改正の際、大規模改修補助については面積要件をなくした。

Q 南加積小給食調理委託の考えは。

A 調理員退職等の条件があり、進めている。食材購入、献立は教育委員会でを行う。

Q 退職は補充で良い。

A 調理業務のみの委託で調理員休暇時対応が容易等、民間委託にメリットあり。本人の希望により、業者選定時に再雇用の申し入れも行っている。

Q 賛成出来ない。反対する。

Q パンに異物混入の顛末は。

A 学校給食会を通し、業者指導を行いパン給食を再開。

Q 学校給食会からの食材調達は。

A 調達はパンのみ。

Q 地元食材活用は。

A 現在8%、15~20%を目標に進める。

Q とやま型学力向上総合支援事業費とは。

A 県からの委託事業で、教職員の研修、授業づくりのための費用。

Q グラウンドの排水対策については。

A 県教育委員会連合会で予算化の要望の声が出てきている。計画的に行っていく。

Q 田中氏発明のスズメバチの捕獲器を学校等で普及できないか。

A 活用する事は可能。



スズメバチ捕獲器

【審議の結果】委員会所管の議案第71号は賛成多数、その他は全会一致で可決した。

産業厚生常任委員会

上市駅の観光案内所オープンスペースへ

福祉課

Q 放課後児童クラブの延長は。

A 検討しているが指導員のなり手が不足しているが難しい。

Q コミュニティバスにつき、校区をまたぐ周回路線で運用できないか。

A また観光目的での活用は如何か。

Q 周回路線は目的地への移動に時間を要し、かえって利便性を損なうのでは。観光目的は、法令への対応と車両の確保が必要となる。

Q 介護予防の取り組みは。

A 民生委員など地域の方々と勉強会を行い、介護予防教室をこまめに開いている。カミールの教室は毎回50人から80人が参加して盛況である。

町民課

Q マイナンバーの状況は。

A 返戻数は11月24日現在で398世帯。そのうち162件を窓口で渡した。12月14日現在で236世帯分を保管している。

Q 県では交通事故死亡者が増加傾向。高齢者の事故防止対策は。

A 交通指導員が街頭に立つ機会を増やしてもらっている。交通安全協会等と連携する。

建設課

Q 白萩西部町営住宅においては、電磁調理器を入居者が購入することになっている。高価であり、転居時には不要となるのでは。

A 調理器は賃貸や購入補助の対象となっていない。性質上難しいが、今後検討したい。

Q 医療機械器具購入費

3200万円とは。

A カルテにつき、電子化したものと紙のものを統合する費用。

Q カルテを病院間で利用する試みは。

A 当院が情報システムを提供し、中新川の開業医と連携している。

産業課

Q 駅の観光案内所は、観光客が入りにくい。

A 改装を行い4月から開放的な空間とし、職員2名を配置する。事務所機能は町役場3階に移転する。

Q 観光案内所の貸し自転車利用実績と今後の見通しは。

A 7月に開始し延べ42件の利用があった。新たに女性向けの自転車3台を導入する。サイクリングイベントを実施したい。目下県に打診している。

【審議の結果】委員会所管の議案を全会一致で可決した。

一般質問

伊東 俊治 議員



ドクターヘリ就航 3 ヶ月半を迎えて

議員

11月末で上市へ何回出動されたか

消防署長

富山県の救急医療体制の充実を目的に、本年8月24日から富山県ドクターヘリが運航を開始した。11月末現在、上市管内では10月に7件、11月に6件の計13件の出動となっており、ドクターヘリでの搬送先病院は、県立中央病院が12件となっている。1件は、防災ヘリでの搬送となったためドクターヘリでは搬送していない。

議員

上市より要請があつて、県立中央病院まで何分で搬送できるか。

消防署長

ドクターヘリの要請には3通りの要請方法があり、1点目は、119番通報時に要請する場合、2点目は、救急隊が現場から要請する場合、3点目は、転院搬送など病院側で要請する場

合があるため、それぞれの事案によって、到着時間が異なる。ドクターヘリの一番の目的は、病院への搬送時間短縮も含め、いち早く傷病者に医師が接触して、早期に医療介入することにある。ドクターヘリ自体を病院と捉えていただければと思う。通常、上市町の中心部から県立中央病院まで救急車で搬送した場合は、約15分〜20分程度かかるが、ランデブーポイントである町民グラウンドまでの搬送時間を比較すると、大幅な時間短縮で早期医療が開始されることとなる。

議員

ランデブーポイントについて

消防署長

ランデブーポイントとは、傷病者を乗せた救急車とドクターヘリが合流するため、事前に設定された場所の事を言う。

現在、上市町には、学

校のグラウンド8箇所、公園で5箇所、その他公有地で1箇所計14箇所が県の指定を受けている。砂地の場合は、砂の飛散を抑えるためポンプ車による散水が必要となり、ドクターヘリとの時間調整が取り辛いことから、芝生のある町民グラウンドや丸山総合公園、馬場島芝生広場を主に利用している。

議員

降雪期の対処について

消防署長

ドクターヘリが運航開始してから始めての冬季運用となり、消防側でも大きな課題と考

えている。関係機関の協力を得て出来るだけ早い除排雪等、ランデブーポイントの確保に努めて参

りたいと考えている。また、来年1月には積雪時

での冬季対応訓練を予定

しており、降雪期でも円滑な活動が出来るよう対応していく。

ドクターヘリで搬送し

た場合、死亡12人、症状の軽快22人、救急車で搬送した場合、死亡24人、症状の軽快4人と死亡率が半減し症状の軽快する患者は5倍に上がり、後遺症が残った患者は11人から5人に半減し効果が上がっている。



富山県立中央病院屋上



堀田喜久男 議員

一般質問

- ・パークゴルフ公認コース
- ・環境美化対策
- ・デマンドタクシー導入
- ・宿泊施設の誘致

**公認コース設置を要望
面積的な条件のクリア
が課題**

議員 是非、上市町に公認コースの設置を要望したい。従来からのコースに増設、或いは、美しい景観の中でプレーできる話題性のあるコース設定を考える事ができるのではないか。

町長 当町では、現在3箇所のパークゴルフ場においてプレーを楽しむ事ができ、多くの愛好者がおいでのなる事は町としても大変喜ばしく思っている。コースの公認を受けるには、日本パークゴルフ協会が定める設置基準を満たすことが必要。主なものには、「指導者による指導体制を配備」「18ホール以上で総面積1万2000㎡以上が望ましい」「駐車場、休憩施設、トイレ、水呑場の利便施設を設置」などの規定があり、特に、面積的な条件のクリアが課題となる。現在、料金をい



剣親自然公園パークゴルフ場

ただいているのは、ふるさと剣親自然公園パークゴルフ場のみで、変化に富んだ本格的な18ホールが設置されているが、公認という点では、コースの長さや総面積において条件を満たしていない。広げるとなると、山の斜面を何箇所も削る必要が生じ、土砂崩れや地下水の問題等の懸念もあり、「既存施設の増設」には多くの問題があり困難。「話題性のあるコースの新設」は現段階では想定していない。

**デマンドタクシーの導入を検討できないか
現在のところ考えていない**

議員 3月定例会でコミュニティバスの質問をした後、岡山県総社市に出行き、ドアtoドアの新生活交通の取り組み実態を研修してきた。県内でも、最近は黒部市や射水市でデマンドタクシーの運行例がある。当町でも検討できないか。

福祉課主幹 コミュニティバス運行で、近年延べ5万人を超える利用があり、地域や住民の要望を踏まえ、限られた財源の中で町民の移動手段の



総社市『雪舟くん』

確保を目的に運行している。今後は更なる利便性向上のため、経路や停留所の見直し、運行地域の拡充等の準備を進めており、コミュニティバスとしてのデマンドタクシー導入は考えていない。

**ポイ捨てゴミに対し効果的な対策はないか
モラルの向上につなげたい**

議員 いたる所にポイ捨てゴミが絶えない。原因としては、捨てる側のモラルの問題に他ならないが、何か有効な手立てはないものか。

町民課長 自主的に清掃活動にご尽力される方がいる一方で、心ないポイ捨てが後を絶たない。「ポイ捨て禁止」看板設置のほか、「ごみゼロ運動」「みんなできれいにせんまいけ大作戦」、「森・川・海リレー清掃キャンペーン」、「空き缶ポイ捨てゼロ運動」など、環境美化活動を推進しているところである。今後、活動内

容を広くPRし、町民ひとり一人に「環境美化」に関心を持って頂くことで、モラルの向上につなげたい。

**ビジネスホテル等新たな宿泊施設が必要ではないか
施設の必要性を強く感じている**

議員 観光や仕事で来町しても、泊まるのは富山市内というケースが多い。我が町に、是非、ビジネスホテル等の新たな宿泊施設が必要ではないか。

町長 宿泊施設誘致に関して、施設の必要性を強く感じており、宿泊を誘発できない事は、町にとって大きな機会喪失。町として、スマートインターチェンジ構想や、新相ノ木駅又は上市駅などの施設や、観光資源を呼び水に、誘致を進めて参りたい。

一般質問

伏黒日出松 議員



略式代執行で空き家を解体

空き家の対応について

議員 6月に空家条例が制定されて、危険家屋がどのように処理・対応されたのか。

建設課長 空家対策では、空家特措法で可能となった空き家の所有者を固定資産情報等で調査し、8月より各種パンフレットとともにアンケート調査票を送付して、所有者自らの改善を促した。

空き家に関する相談は34件あり、うち口頭指導が7件、指導書の送付は4件、緊急安全措置を2件実施した。なお、指導書送付の1件は、所有者と法定相続人が存在せず、空き家が著しく危険な状態でしたので、空家特措法の所定の手続きに基づき略式代執行を施行して12月始めに取壊しを完了した。

不妊治療について

議員 不妊治療の現状と、実績について伺う。

福祉課主幹 町では不妊治療を受けているご夫婦の精神的・経済的負担の軽減を図るため、1夫婦につき年間20万円を限度に3年間にわたる不妊治療費助成制度を実施している。

平成14年度の創設から現在までに95組のご夫婦から申請があり、52人のお子さんが誕生している。

なお、補助金の増額については体外受精や顕微授精による不妊治療に係る費用だけでなく、人工授精やホルモン剤、排卵誘発剤等の薬物療法などの一般不妊治療や保険適応外の治療、男性不妊治療も対象とし、さらに居住年数の制限を設けない等、幅広く利用できる内容であり、現行どおりで対応する。

医療費の無料化について

議員 医療費の無料化を高校までにできないか。

福祉課主幹 現在は、中

学三年生までを対象としている。医療費助成の総額は4400万円あまり

で、小学生以上を対象とする助成費は、町の単独財源で実施していることもあり、現行通りの中学三年生までを対象とし、高校生までは予定していない。

消防団の活性化について

議員 「消防団活性化検討委員会」における検討内容は。

消防署長 上市町の消防防災活動の向上を図るためには、若手消防団員の確保が必要不可欠であり、団員の処遇や装備の改善など計画的に実施し、入団促進を推進している。とくに、町長からは年間2万円の町消防団員（一般団員）の報酬を新年度に増額する方針が示された。

町の消防団員数は、定数306人に対して、279人（4月1日現在）となっている。

総合診療医の設置について

議員 かみいち総合病院に総合診療医を設置してはどうか。

病院事務局長 今後より一層高齢化率が上昇する中で、総合診療医の重要性はかみいち総合病院でも認識しており、これまでも継続して関係大学等へ常勤医としての赴任をお願いしているところであるが、医師不足の折、実現に至っていない。今後も引き続き要望していく。

その他の質問

- ・ 出生人数に関連して
- ・ 老人介護施設の状態
- ・ 児童虐待





酒井 桂之 議員

一般質問

第7次後期基本計画のスタートにふさわしい予算編成を報酬改定の見直しを国に働きかけることと人材確保に全力を！

今後の目玉になるよう平成28年度予算編成方針をどのように進めていくのか

議員 予算の編成をどのように考えているか。

町長 平成28年度予算編成において、国・県の動向に留意しながら、経常

経費を前年度当初予算額以下に抑えることを目的とする一方で、第7次上市町総合計画及び上市町まち・ひと・しごと創生



耐震補強工事が予定されている働く婦人の家

グラムの充実やガイドの育成③町外から来る「地域おこし協力隊」を募集し、地域住民との交流による農産物の収穫、情報発信④武道館に空調機の整備⑤こども医療費の助成や学校給食費などの少子化対策の推進⑥働

総合戦略に掲げられた重要施策について重点的に

予算配分を行うこととしており、厳しい財政状況

においても、町の活性化

を目指し、創意と工夫を

凝らした予算編成に努める所存である。

議員 主なプロジェクト事業はどのようなものか。

町長 ①スマートイン

ターチェンジの上市町設置について、関係機関と

調整②森林セラピープロ

グラムの充実やガイドの育成③町外から来る「地域おこし協力隊」を募集し、地域住民との交流による農産物の収穫、情報発信④武道館に空調機の整備⑤こども医療費の助成や学校給食費などの少子化対策の推進⑥働

く婦人の家の耐震補強工事などに取り組み。

議員 地方創生総合戦略に基づく事業をどう取り入れるか。

町長 地方創生先行型交付金を活用して先行実施

しているファミツアや観光PRによる町の情報

発信、移住・交流の奨励に係る助成などに取り組み

みたい。

議員 介護報酬の引き下げで採算割れしているように推測するが、実態は

どのようなになっているか。

介護事業所の運営をどう進めていくのか。

議員 介護報酬の引き下げで採算割れしているように推測するが、実態は

どのようなになっているか。

町長 地方創生先行型交付金を活用して先行実施しているファミツアや観光PRによる町の情報発信、移住・交流の奨励に係る助成などに取り組み



平成27年11月29日付読売新聞

か。

福祉課主幹 平成18年度の改定以来、9年ぶりの

マイナス改定となり、報酬全体で2・27%の引き

下げになる。県が実施される調査の結果を踏ま

えて分析する必要がある

と考える。少なからず経営状況に影響を与えてい

ることは間違いないと考

えるので、必要があれば

関係機関に働きかけてい

きたい。

議員 介護・福祉職員の人材確保をどのようにして

いくのか。

福祉課主幹 上市町社会福祉協議会が平成28年度

に企画している「福祉教育サポーター養成研究会」に積極的に協力すること、3年後、5年後に、福祉関連の職についていただける人材の発掘に留意していきたい。



一般質問

平井 妙子 議員



フォトロゲイニング第2回は10月に開催

平成28年の観光客見込みの対策について

議員

・新幹線開業後前年度に比べ上市町への観光客増は。

・森林セラピー基地と観光に滞在を組み合わせた誘客を考えているか。

・フォトロゲイニング第2回開催とはいつ頃と考

えているか。

産業課長 観光関係事業者へのヒアリング調査において、新幹線開業に伴い北陸・富山県の観光が注目され、施設の利用客



北アルプス文化センター前、一斉スタート

が増加しているものと思われる。

次に、町の基

地に登録する森林セラピスト・セラピーガイドの方々

と町内の宿泊業者の連携を促進し、地域への経済効果が

高い宿泊付きツアーの商品化と販売拡大を図って参る。

また、フォトロゲイニング大会については、天候などに適した環境、準備期間の確保、他のイベントの開催時期

など考慮するとともに、本町で

宿泊していただけるよう3連休であった10月10日を本年度の開催日とした。

議員

・観光シーズン又は曜日限定での馬場島行のバス運行を考えているか？



ポイントでのポーズ

町長

観光シーズンまたは曜日限定での馬場島行のバスについては、採算等の理由から平成10年4月に休止になり、平成11年7月に廃止となっている。

人気の観光地であるが、遠隔地であるため、観光シーズン又は曜日限定のバス運行であったとしても、採算性や費用対効果の点で民間事業者の参入は困難であると感じる。

今後は観光客入込客数の状況を見つつ、町の財政負担が可能な範囲で二次交通の整備を検討している。

小学校の英語教育について

議員

・小学校に英語教育・対象学年は決定されたのか。

・実行までの準備(指導者)をどのように考えているのか。

教育長 平成32年度から新しい学習指導要領により五、六年生において週3時間程度。三、四年生において週1時間程度の

「外国語活動」の導入が検討されている。

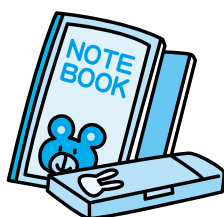
現在、町内各小学校における「外国語活動」は、視聴覚教材を活用した授業が主なものであるが、月1時間程度は各小学校で中学校のALTを活用した、より生きた英語を感じ取れる「外国語活動」を実施している。

来年度以降の継続派遣及び増員を要望したいと考えている。また、充実及び教科化を見据え、町単講師の採用も検討しているところである。

議員

・帰国子女などの活用について

教育長 町単講師については、教員OBや塾講師、生きた英語のコミュニケーションセッションが期待できる、帰国子女の方々にもお願いできればと考えている。また英語圏の外国人や英語圏で永くご経験のある日本人の方々の採用を含め人選したいと考えている。





成川 友仁 議員



子どもの遊び場と学び場の確保を

丸山総合公園の遊具

維持・管理の見直しは遊具の更新も視野に

議員 丸山総合公園の芝生広場に設置されている子ども向けの遊具が、10月から使用禁止になっている。国土交通省の指針に沿って定められた安全基準を満たさないとのこと。

公園の施設の適切な利用は、子どもの身体の発育および社会性の醸成に役立つ。公園の遊具の維持・管理や更新に関する見直しは如何か。また、遊具の状況についての広報は。

建設課長 点検結果に基づき、使用禁止の緊急措置を取った。経年劣化や基準改定で危険と判断されたため。使用再開には大規模な修繕が必要であり、遊具の更新も視野に入れて検討中。必要経費を来年度予算に計上予定。
現地の遊具に子ども向

けの平仮名書きのものと保護者向けの貼り紙とで使用禁止をお知らせしている。使用再開の方向性が決まり次第、町ホームページ等でも広報を行う。



使用禁止となった遊具(左)と貼り紙(右)

小中高生の自習場所

公共施設の活用を放課後学習室を拡充

議員 学校の定期試験などの前になると、図書館等に併設された自習室は手狭になる傾向がある。

住環境の制約から、自宅では勉強しづらいとの声も聞く。普段から、公共施設などを柔軟に活用して、自習場所を確保しては如何か。

なお学童保育や放課後学習室は、指導者の目が行き届く利点があるものの、時間帯や利用者の所属・年齢が限られている。**教育長** 上市図書館に最大36名が利用できる学習室を設置している。11月には月間延べ166名が利用し、現状では余裕がある。

地域の教育・文化を担う公共施設のMLAK

- M : ミュージアム (美術館・博物館)
- L : ライブラリー (図書館)
- A : アーカイブズ (文書館)
- K : コウミンカン (公民館)



上市図書館

上市中学校で自学自習を旨として実施している放課後学習室を、来年度から小学校へ拡充することを検討中。学校現場や放課後児童クラブとの連携も視野に入れる。また、町内で利用可能と考えられる自習場所の情報収集にも努めてゆく。

地方創生と多様性

多様な暮らしの尊重を視点を各種施策に反映

議員 上市町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、町の特徴を生かした方針を打ち出しながらも、地域を取りまく人々が多種多様であるとの視点がやや不足している。

総合戦略の項目を踏まえ、以下の3点につき、方針・方策を伺う。いわゆるおひとりさまから子どもさんまでの家族まで、多様な家族にきめ細かく対応すること(出生数の多様性)。地域おこし協力

隊の経済活動を認め、多様な活動領域を保障すること(なりわいの多様性)。夫婦で住まいする場合には女性や子どもにも選ばれること、週末限定滞在のような2地域居住でも選ばれること(居住選択の多様性)。**企画課長** 多様性の視点を施策に取り入れることは有意義である。

町民の多様な考え方や、生き方を尊重しつつ、結果として出生数の増加につながるような施策を推進したい。

地域おこし協力隊員独自の経済活動は、時間の許す限りで保障することなどを含めて制度設計に努めている。

女性・子どもにも選ばれる町という視点は重要であり、働きながら子育てしやすい町を目指して各種施策を展開している。2地域居住者に対して、東京での催しでPR活動を行っている。

一般質問

酒井 恒雄 議員



● 防災行政無線戸別受信機の貸出し
● テレホンサービス 472-1114番へ

まち・ひと・しごと創
生総合戦略と第7次総
合計画について

議員 まち・ひと・しごと創生総合戦略の作成状況と第7次総合計画の後期基本計画の作成について伺う。

町長 地方創生総合戦略については、10月に完成しホームページや広報紙で公表している。

基本目標、

- 1 人口減少の抑制
- 2 雇用の場の拡充
- 3 「町の魅力の向上と交流人口の拡大」及び「選ばれる住環境づくり」

については、第7次上市町総合計画と同様に、女性起業家の育成や観光振興を図るなどの「経済力の創生（しごと）を創る」、放課後の子供の居場所づくりや学習環境づくりに取り組むなどの「人間力の創生（ひと）を育てる」、移住・定住の促進やスマートインフラチェンジの設置促進な

どの「安心力の創生（ま）ちを守り、支える」の3つの目標に準じて集約し、それぞれに位置づけを図り、数値目標を設定し推進していく。平成28年度予算についても各担当課において要求を行っている。

第7次総合計画は、現在審議会において審議中である。前期基本計画の数値目標は達成見込みの38項目を含め、数値や目標とする項目について見直しを図っている。前期実施計画の中間見直し後の全175事業のうち39事業については完了した。残りの136事業は平成28年度予算編成作業と併せて、内容を精査し引き続き後期実施計画へ反映していく。

防災害情報伝達について

議員 11月24日に行われた「Jアラート」の全国一斉訓練と防災行政無線戸別受信機の貸出しについて



戸別受信機

総務課長 消防団緊急伝達サイレンの事前周知については、吹鳴前にサイレン吹鳴装置放送機能によるアナウンスで住民に知らせてきたが、今後は現在の方法に加え、広報かみいちや町内回覧などで事前周知を行う。全国瞬時警報システム（Jアラート）の全国一斉訓練については、広報かみいち、ホームページなどで事前周知しているが、今後は分かりやすく周知するよう検討する。

防災行政無線戸別受信機の貸出しについては、貸与する受信機のエリア設定に費用を要し、貸出しに伴う個々の受信アンテナの設置を行わない場

合に限り戸別受信機の貸出しを検討するので、必要な方は、町総務課へ相談してほしい。
なお、防災行政無線が聞き取りにくい場合は、472-1114番へ電話いただければ放送内容が確認できる。

マイナンバーについて

議員 マイナンバー制度の説明会の開催と返戻案内について

町民課長 マイナンバー制度の個人番号カードは、個人の申請により市町村長が交付することになっておりカードの取得は強制ではない。説明会については、すでに柿沢地区において説明会を終え、現在1件予定をしている。要望頂ければ出前を行っている。

通知カードは、7918世帯、21540人分が作成され、11月30日に配達完了した。返戻されたカードについては、国の通知により3ヶ月程度町で保管される。保管

している旨の返戻案内は12月7日時点で231世帯に送付した。
通知カードがまだ届いていない世帯は、町役場にて確認してほしい。



スキー山

その他の質問

- ・平成28年予算予算規模
- ・重点事業について
- ・教育関係について
- ・スキー山のあり方読解力の育成
- ・上水道鉛製給水管の取替について
- ・下水道の進捗率について



碓井 憲夫 議員

地域おこし協力隊の活用で 農業・菓子製造業・旅館業・自転車業の後継を

立山町	3人
朝日町	3人
富山市	2人
氷見市	6人
南砺市	5人
砺波市	1人
小矢部市	2人

議員 農業だけでなく、ながいあいだ町の賑わいになってきた商店が後継者がいないことで店を閉じられることが続いている。上市町の観光名所大岩の旅館も例外ではない。先に議会主催で開催したシンポジウムでも後継者は身内に限定されることが話合われた。国は「地域おこし協力隊」に3年間の生活費を応援する制度をつくっている。活用すべきだ。

産業課長 「地域おこし協力隊」制度を活用することにより、進行する人口減少や高齢化によって抱える問題を解決できないかと、主に農業振興や特産品開発対策などを中心として準備中である。隊員ならではの新たな視

景気の回復、国内需要の拡大は、国民の購買力、所得の拡大が要だ。足元からはじめなければならぬ。上市町の非正規職員の賃金は最低賃金水準の750円であり、周辺自治体と比較し

議員 まちの有力企業の経営者、従業員に上市町居住のお願いをしていただけないか

町長 上市町に居住していただくようお願いをする。

議員 賃金の改善について

点を獲得し、行政ではできない柔軟な地域おこし活動を通じて、ある業種の後継者になりたいと考えていただけることになれば拒むものではない。

退任後上市町を選んでいただくには、隊員が笑顔で活動できる態勢づくりが必要であり、世話役が大切な存在になってくる。

議員 かみいち総合病院に小児科の夕方外来を

子育て支援が強調される中で、かつては2件あった小児科開業医がゼロになっている。働くお母さん方のためには小児

図書館の正規職員数

滑川市	5人
立山町	2人
舟橋村	3人

でも低く改善すべきだ。

町長 政府は賃上げをいっただけで財源の手当てがされていない。デフレも改善されず、貧困状態。来年度から臨時職員の賃金を日給6,000円から6,200円に改定する。

議員 図書館内に正規職員が常勤していない図書館は上市町ぐらいだ。安心してできる職場と生活は少子化対策にも必要だ。



かみいち総合病院

科の夕方外来が求められている。総合病院は24時間、休日、深夜の電話でも医師、医療関係者が応対していただいております。市民の安心の源だ。医師、看護師不足の中で、頑張っていたら、頑とは承知しているが、小児科の夕方外来の実現で働くお母さん方の支援を行っていただきたい。

病院事務局長 特に産婦人科と併せて小児科の医師不足は深刻な状況のため、小児科の存続維持に苦慮している。育児休暇明けの女性医師が、予防接種の職務と併せ一般外

来診療を行っており、なかなか、夕方診療に時間を割り振ることができないが、育児と仕事の両立支援を行う観点もあり、昨年より受付時間を午後4時30分までに繰り下げているが、これ以上の延長は検査部門などの職員の就業環境も踏まえつつ、検討する必要があるものと考えている。なおネットでの予約も好評であり利用していただきた

視察報告

アルプス縦貫トンネル促進

特別委員会

(11月9日・10日)

長野県白馬村と大町市、新潟市の国土交通省北陸地方整備局を恭敬訪問して、アルプス縦貫トンネル構想について話し合いを持った。

白馬村では、「富山県と長野県を結ぶ道路の必要性」について話し合い、大町市では、「松本・糸魚川高規格道路との関連性、交通の要所構想、上市ルート（馬場島・大町市）の重要性」などについて、活発な議論を交わした。

又、国交省では例年の如く、「アルプス縦貫トンネル促進」のお願いをした。



今回訪問した3箇所とも、平成27年末にルート発表される松本・糸魚川道路が最優先で、アルプス縦貫トンネル構想は、その後という感覚があり、一定の理解は頂けたものの、当町との温度差を感じざるを得なかった。

何れにおいても、感覚的には、

まだまだ夢物語の域を越えず、構想から20数年経過した今、先ずは富山県として3本のルートを1本に絞る事、富山県と長野県との共同で要望して国交省に働きかける段階である事を、痛切に感じた。

北陸新幹線が構想から約50年で、金沢まで延伸開業した事を考えれば、アルプス縦貫トンネルはまだ道半ば。今後共、粘り強く働きかける活動の手を緩める事なく、近隣市町村と共に上市ルート決定に向けて、定期的に話し合いを持つなど、精力的な運動により、必ず実現できる事を信じて歩み続けたいものである。



議会運営委員会

(11月18日・19日)

災害時応援協定を締結した下呂市を訪問し交流、情報交換をした。

下呂市も人口減と少子高齢化が進んでいるが、豊富な温泉源を基に海外観光客（現在約3万人）の増加を目指し夜間ライトアップ事業など展開している。

議会の活動としては平成24年度から議会報告会を実施、市民と議会の意見交換会が5会場で開催されている。また定例会の数日前に、日程・一般質問のお知らせのチラシを発行している。



産業振興対策特別委員会では十日町市(新潟県)と
栄村(長野県)を行政視察させていただきました。

(11月30日～12月1日)

十日町市では

地域おこし協力隊(地方再生のため都会から地方に若者を呼び込む活動に国が交付金支給)は43人

十日町市は地域おこし協力隊としてこの7年間で全国から43人の若者を受け入れている。生き方に疑問を感じて来られる方が多く、3年間の活動の中で仲間、仕事をみつけ31名の定住人口の増加につながっている。集落の空き家などに住み、最近も大卒の25歳の女性が情報誌をつくる仕事に就き、70%近い定着・定住率である。

どのような活動をしておられるか?

- ☆地区農産物の商品化・販売
- ☆農業体験の受け入れ
- ☆耕作放棄対策
- ☆棚田を守る会活動
- ☆地元野菜の学校給食納入
- ☆伝統料理文化の伝承
- ☆観光施設の環境整備・利用促進
- ☆直売所の活動等である。

栄村では

村民共同で土木、介護事業を推進

・農地や水路の改修を国の補助をあてにすると基準が高く、かえって村の持ち出しが多くなるので、村の業者を先頭に身の丈に応じた設計・施工を独自で行っている。
 ・家庭での介護を促進。要介護の方の家族がヘルパーの資格をとり介護保険を活用するなど、村内の雇用拡大、所得の循環を行っていただくことを学んだ。



シンポジウムに若者が集まる農業のために

上市町議会産業振興対策特別委員会では27年11月27日(金)役場4階にて、上市町等で農業に携わる若者をパネラーに迎え、みだしのシンポジウムを行った。また、農業者協議会や町外の先進地から迎えた助言者と共に、当日は30名以上の一般参加者の方々と、積極的に意見交換がなされた。

- ・パネラー、助言者からは自営業としての農業、土づくり、おいしい食物づくり、お客さん、仲間づくりの魅力などが語られた。
- ・パネラーは
 - 稲葉 悟(稲葉農園)
 - 井原 真吾(メデルケ)
 - 有澤ゆかり(味蔵)
 - 安井実枝子(安井ファーム)
- ・助言者は
 - 稲垣 鎌三(農業者協議会)
 - 三浦 直(小原営農センター)
 をお迎えした。



追跡レポート

その後実った議会での提案・要望

学校に空調機設備

平成23年9月議会質問

その後

全小学校・中学校に空調機が設置され快適に勉強できる環境になりました。



空調機が設置された教室

増える空き家の対策

平成26年12月議会質問

その後

平成27年6月議会において上市町空き家等対策の推進に関する条例が制定され、空き家の有効活用、安全対策が具体化されました。



住む方を待つ空き家

議会との活発な意見交換がなされました

上市町農業者協議会との意見交換会 (10月30日(金))

(要旨)

- ・農地だけでなく、空き地、空き家、空き工場、空き商店も増えている。
- ・どの産業も後継者がいない。結婚、子供が育つ環境づくりが必要。
- ・基幹道路の法面の雑草対策が悩み。
- ・条件の悪い農地の受け入れも必要だ。
- ・受け入れねばならない。
- ・草、用水対策は農業者だけでは対応は困難である。
- ・土地改良事業補助が少なく、地元負担を支払う力がない。
- ・補助金の条件を改善しなければなら

商工会との地域振興懇談会 (12月2日(金))

(要旨)

- ・プレミアム商品券1億300万円は大型店の利用が約60%であり役割が問われている。
- ・街の中心部の道路をカラー舗装に。
- ・各種会合に出されるペットボトルを地元の上市でしようがなどにするきないか。



視点

勝戸 謙 議員

12月定例議会も終わり師走の一時ほっとする間もなく、広報の編集が始まった。二回目の視点への投稿の順番である。

外に目をやれば、12月19日と言うのに冬の気配さえ見られない温かい日が続いている。その中でも取り分け緑の色濃い葉の株が群れを生していた。彼岸花（曼珠沙華）である。農道法面の養生、保護の目的で20数年前に植えたものである。彼岸花には小動物の嫌う毒素がありネズミの被害を避けることが出来ることから、長さ約80m、高さ0.6m、幅1mの面積に球根を一個一個並べ植えたものが、今は群れを生している。9月10日前後から約一ヶ月間真っ赤な花を咲かせてくれる。花の後は来年5月頃まで緑の葉でいる。一旦葉は枯れ9月の開花までは、球根で夏を過ごす。葉見ず花見ずと言われる由縁である。

従って春から秋までの除草は、草刈り機に頼るしかなく、間違っても除草剤は禁物である。今後も農村環境保護の一例としてここだけは、額に汗して草刈り機を使いたいと考えている。

テレビは「小さな旅」のテーマ音楽が流れている。いまだ夜の覚めやらぬ雨の朝である。



伊東 俊治 議員

スクラップ

私は、若いころから、物を取っておく習性があり理容組合時代の新聞等は、今でも取っており、上市町の町報も年ごとにダンボール箱に入れてあります。「新上市町誌」の編集委員の方が参考にしたとい、いくつかの年代の町報を持っていかれました。

このように残しておきたいという思いから、昭和50年頃から新聞・雑誌の切り抜きを「スクラップ」し始めました。今では562冊になりました

一年間の「会議ノート」も一年間の上市の出来事をスクラップしたらズッシリ重いノートになっています。特に昨年、今年度は、「安保法制」・「TPP交渉」・「軽減税率」等沢山の問題点があり「再建」と題して作成しているスクラップが、今年最高で20冊になり、一般質問等多くに活用しました。

何か調べたい時にも調べるのに大変重宝しております。これからもしっかりと残し私の資料としていきます。



宝嶋 洋子 議員

音楽との出会い、子供の頃は童謡を聞き学校に入り音楽の授業で色々な歌や楽器を学びました。

テレビから流れる歌謡曲、レコードを聴いたりしました。

学生時代はコーラス、合唱部に入部し歌がよく好きで友達とフォークソングなどもよく歌い、悲しい時、楽しい時、音楽を聴いていたと思ひ出します。

結婚してからは、カラオケがはやり、相ノ木公民館でカラオケ教室に入り、今も継続しています。会員の皆さんと、老人施設に何度か慰問に行き喜んでもらいました。

昨年8月に、北アルプス文化センターで岩河三郎氏を偲ぶ、ふる里のうたコンサートがあり、久しぶりに参加しました。

参加者は、県内外からも多く参加され、練習を重ねました。

越中おわらやこきりこ・麦やなどが、指揮者にあわせて、オーケストラ・合唱から成り、全曲終わつた時、感動で涙がこみ上げてきました。これからも音楽を友として、歌っていきたいと思ひます。



町民の声 紹介



稗田 池田美千代さん

◆議会に期待することは
上市町で女性プチ起業塾「市姫東雲会」に所属し、11月カミールでの姫フェス出店時、多くの議員さんにご挨拶でき、恥ずかしながらも目がとまるところになりました。実家の食堂等からのまさに町民の声を意見・情報・交換出来るような活発な議会を期待致します。



森尻 高田 大輔さん(25歳)

◆議会に期待することは
今回の機会です、初めて議会広報と言うものを知りました。全体を読ませて頂きましたが、色々な視点からの上市町を良くする考えを知る機会となり、うれしく思います。今後も読ましていただきたいと思いますし、知られていない方には、是非読んでいただきたいと思致します。

◆議会に期待することは
外に目がいついていた様な学生時代。ようやく剣岳をはじめ、地元上市町を実感する日々。今後は珠算教室でも接する子供達の将来や、健康、スポーツ、そば道場での地元産そば粉はじめ地産地消等、身近なものから改めて見えてきたいと思っております。

よひょう 議会広報めがけて

議会広報発行から二年目になり、この間質問者も増えるなど、議会活性化につながっていると思われます。よりわかりやすく、内容ある議会広報をめざし編集委員が連携し、知恵を出しあっています。

- ・議会広報特別委員会では6人全員で、昨年10月全国町村議員会主催の議会広報研修会で学びました。研修会では第一線の講師から表紙はスムーズにページを開かせる、誘引するものでなければならぬ。
- ・みだしは大きいだけでなく、インパクトがあり、中味の要点を表すものでなければならぬ。
- ・議会、議員の主張、意見がなければならぬ。
- ・まあいいやではよくならない。

◆中味が濃いものでした。他にも文書の表現、空間の役割、写真の扱いなどを学びました。

◆これからの研鑽を積み、読んで頂ける議会広報の編集に努めますので皆さんのご支援よろしくお願いたします。



3月定例会開催予定

- 2日(水)・3日(木) 本会議・全員協議会
- 4日(金)・7日(月) 議案調査日
- 8日(火)・9日(水) 本会議(一般質問等)
- 10日(木)・11日(金) 予算特別委員会
- 14日(月) 総務教育常任委員会
- 15日(火) 産業厚生常任委員会
- 16日(水)・17日(木) 全員協議会・本会議
- ※午前10時開会
- 15日のみ午後1時開会

おしらせ



「声」の募集

◆町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

編集後記

◆念願の議会広報が発行され、今回6号となります。広報委員会が編集した12月議会の内容を、より多くの町民に読んで頂き、色々な意見も聞かせてもらいたいと思致します。

◆広報発行が上市町の活性化に繋がり、議会と町民のパイプに成る事を願っています。

◆平成28年が、町民の皆様にとって素晴らしい年となる事を祈念申し上げます。



(宝嶋洋子)

会議録の閲覧

◆インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2ヶ月後に更新されます。)

◆アドレスはこちら

◆町ホームページ「議会会議録検索」または、

◆<http://asp.db-search.com/kamichi/>